

平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月14日

上場会社名 寺崎電気産業株式会社

上場取引所 東

コード番号 6637 URL <http://www.terasaki.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 寺崎 泰造

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画室長 (氏名) 池田 康孝

TEL 06-6692-1131

四半期報告書提出予定日 平成26年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	27,130	17.0	1,418	360.9	1,888	362.5	1,474	—
25年3月期第3四半期	23,189	△0.4	307	△60.3	408	△42.4	△13	—

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 2,618百万円 (—%) 25年3月期第3四半期 448百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	113.20	—
25年3月期第3四半期	△1.01	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第3四半期	38,304	21,144	55.1	1,619.58
25年3月期	36,452	18,657	51.1	1,428.69

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 21,101百万円 25年3月期 18,614百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	12.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成26年3月期(予想) 期末配当金の内訳 普通配当 10円00銭 創業90周年記念配当 2円00銭

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	36,750	14.9	2,050	129.4	2,320	88.7	1,420	97.3	108.99

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期3Q	13,030,000 株	25年3月期	13,030,000 株
② 期末自己株式数	26年3月期3Q	1,021 株	25年3月期	940 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期3Q	13,029,004 株	25年3月期3Q	13,029,060 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続を実施しています。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(四半期連結損益計算書)	
(第3四半期連結累計期間)	6
(四半期連結包括利益計算書)	
(第3四半期連結累計期間)	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間の世界経済は全体的には緩やかな回復となりました。米国では、政府機関の一部閉鎖に発展する政治的混乱の影響がありましたが、個人消費や住宅投資等が堅調に推移し緩やかな回復となりました。

欧州では、弱さが残るものの好調なドイツに牽引されて持ち直しの兆しが見られました。中国をはじめ新興国経済は持ち直しの動きも見られましたが、米連邦準備理事会（FRB）の量的緩和縮小の懸念から回復ペースが鈍く停滞傾向が続きました。

一方、わが国経済は、政府の経済対策や金融緩和政策の景気刺激策を背景に円高是正、株高、消費マインドの改善が進み、好況感への期待が高まっております。更に2020年オリンピック・パラリンピックの東京開催が決定し、中長期的な経済効果が期待されており、緩やかな回復基調となりました。しかし、世界経済の下振れ懸念や2014年4月からの消費税増税による景気減速などの懸念もあり、景気の先行きには注視が必要な状況にあります。

当社グループをとりまく経済環境は、国内・海外における民間設備投資において緩やかな回復を続けました。また、当社の主要顧客である造船業界においては、新造船受注量は回復してきておりますが、新造船竣工量は依然として減少しておりまだ厳しい環境が続いております。

このような状況のもと、当社グループの当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は271億30百万円と前年同期比17.0%の増収となりました。利益面では、営業利益は14億18百万円と前年同期比360.9%の増益となり、経常利益は18億88百万円と前年同期比362.5%の増益となりました。また、四半期純利益は14億74百万円（前年同期は四半期純損失13百万円）となりました。

なお、製品別の連結売上高は、システム製品（配電制御システム等）が130億23百万円と前年同期比5.7%の増収、機器製品（低圧遮断器等）が141億6百万円と前年同期比29.9%の増収となりました。

当社グループのシステム製品の連結受注高は、前年同期を61.2%上回る154億20百万円となり、その結果、連結受注残高は前連結会計年度末より23億96百万円増加し183億96百万円となりました。

なお、機器製品は、計画生産を行っているため、前記受注高、受注残高には含めておりません。

当第3四半期連結累計期間におけるセグメント別の業績は以下のとおりであります。

「日本」

船舶用システム製品（船舶用配電制御システム等）では、LNG船向けやコンテナ船向け及び停泊中船舶への陸電供給システム（AMP）等の売上がありましたが、船舶需給バランスの崩れの影響により売上が前年同期に比べ減少しました。

産業用システム製品（配電制御システム・電子応用製品等）では、海外プラント向けの納期繰延、電力需要に関連したコージェネレーションシステム等の分散型エネルギーシステム向け及び医療用機器等の需要が低調に推移したことにより、売上が前年同期に比べて減少しました。

この結果、システム製品全体の受注は好調さを取り戻しつつあるものの、売上は前年同期に比べ減収となりました。

機器製品（低圧遮断器等）では、国内向けでは太陽光発電等の新エネルギー分野における需要が好調に推移し、海外向けでは東南アジア市場及びOEM販売先向け等の需要が好調に推移したことに加えて、円高是正が持続したことにより売上を大きく伸ばすことができました。

その結果、当セグメントの当第3四半期連結累計期間の売上高は165億20百万円と前年同期比5.2%の増収、セグメント利益は9億7百万円と前年同期比27.3%の増益となりました。

「アジア」

船舶用システム製品（船舶用配電制御システム等）では、一部造船所における建造船の組み替え及び船価下落による当社製品の販売価格低下の影響が続いているものの、納期繰延となっていた製品等の出荷があり、その結果、売上は前年同期に比べ増加しました。

機器製品（低圧遮断器等）では、シンガポールにおける鉄道関連施設向け、マレーシア国内向け及びOEM販売先向けの需要が引き続き堅調に推移したこと等により、売上は前年同期に比べ増加しました。

その結果、当セグメントの当第3四半期連結累計期間の売上高は77億円と前年同期比46.4%の増収、セグメント利益は10億44百万円と前年同期比676.6%の増益となりました。

「ヨーロッパ」

機器製品（低圧遮断器等）では、ヨーロッパ地域の一部において売上が減少しましたが、英国内や北欧地域、サウジアラビア等の中近東方面及びOEM販売先向けの需要が好調に推移し売上が増加しました。

その結果、当セグメントの当第3四半期連結累計期間の売上高は28億41百万円と前年同期比31.6%の増収、セグメント利益は1億11百万円と前年同期比276.7%の増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における財政状態は、受取手形及び売掛金が前期末比13億67百万円並びにたな卸資産が前期末比3億56百万円それぞれ増加したこと等により、流動資産は前期末比21億40百万円増の289億3百万円となりました。固定資産では、投資有価証券が前期末比3億39百万円増加した一方、無形固定資産が前期末比3億5百万円及び有形固定資産が前期末比72百万円並びに繰延税金資産が前期末比1億34百万円それぞれ減少したこと等により、前期末比2億87百万円減の94億円となりました。

この結果、当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、前期末比18億52百万円増の383億4百万円となりました。

負債の部では、その他の流動負債が前期末比4億17百万円増加した一方、短期借入金（1年内返済予定の長期借入金を含む）が前期末比3億34百万円並びに支払手形及び買掛金が前期末比1億91百万円それぞれ減少したこと等により、流動負債は前期末比1億41百万円減の131億63百万円となりました。固定負債では、長期借入金が前期末比2億56百万円及び退職給付引当金が前期末比2億55百万円それぞれ減少したこと等により、前期末比4億92百万円減の39億96百万円となり、この結果、負債合計は前期末比6億33百万円減の171億60百万円となりました。

純資産の部では、四半期純利益14億74百万円の計上等により利益剰余金が前期末比13億44百万円並びに為替換算調整勘定が前期末比9億38百万円それぞれ増加したこと等により、純資産合計は前期末比24億86百万円増の211億44百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成25年11月7日の「業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,958,992	7,299,104
受取手形及び売掛金	11,312,748	12,679,992
有価証券	10,619	5,876
商品及び製品	3,646,664	3,723,601
仕掛品	2,215,881	2,546,827
原材料及び貯蔵品	1,660,357	1,609,372
繰延税金資産	595,629	593,736
その他	447,962	511,544
貸倒引当金	△85,392	△66,457
流動資産合計	26,763,464	28,903,598
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	4,994,532	5,161,400
減価償却累計額	△3,261,516	△3,401,799
建物及び構築物（純額）	1,733,015	1,759,600
機械装置及び運搬具	5,037,434	5,282,949
減価償却累計額	△4,141,176	△4,462,008
機械装置及び運搬具（純額）	896,258	820,941
工具、器具及び備品	6,489,144	6,657,364
減価償却累計額	△6,068,055	△6,270,669
工具、器具及び備品（純額）	421,088	386,695
土地	3,141,325	3,142,632
リース資産	48,701	55,583
減価償却累計額	△29,755	△41,599
リース資産（純額）	18,946	13,984
建設仮勘定	87,266	101,966
有形固定資産合計	6,297,900	6,225,820
無形固定資産		
その他	1,418,207	1,112,211
無形固定資産合計	1,418,207	1,112,211
投資その他の資産		
投資有価証券	447,594	787,554
繰延税金資産	245,495	110,822
その他	1,429,314	1,304,551
貸倒引当金	△149,710	△140,022
投資その他の資産合計	1,972,693	2,062,906
固定資産合計	9,688,801	9,400,938
資産合計	36,452,265	38,304,537

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,506,086	6,314,670
短期借入金	1,410,315	1,218,537
1年内返済予定の長期借入金	1,023,776	881,188
未払法人税等	344,084	262,980
製品保証引当金	146,292	91,141
未払費用	1,831,008	1,934,252
その他	2,043,776	2,461,085
流動負債合計	13,305,338	13,163,854
固定負債		
長期借入金	1,934,354	1,678,210
退職給付引当金	2,269,290	2,014,086
役員退職慰労引当金	194,788	201,730
その他	90,614	102,574
固定負債合計	4,489,047	3,996,602
負債合計	17,794,386	17,160,456
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,236,640	1,236,640
資本剰余金	2,244,650	2,244,650
利益剰余金	15,354,978	16,699,616
自己株式	△1,390	△1,433
株主資本合計	18,834,877	20,179,472
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	125,724	329,813
為替換算調整勘定	△346,044	592,232
その他の包括利益累計額合計	△220,320	922,045
少数株主持分	43,322	42,562
純資産合計	18,657,879	21,144,080
負債純資産合計	36,452,265	38,304,537

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	23,189,082	27,130,174
売上原価	17,787,543	19,876,507
売上総利益	5,401,539	7,253,667
販売費及び一般管理費	5,093,702	5,834,914
営業利益	307,837	1,418,753
営業外収益		
受取利息	41,676	36,416
受取配当金	11,058	15,080
為替差益	81,811	334,969
その他	77,211	154,000
営業外収益合計	211,758	540,467
営業外費用		
支払利息	58,563	51,465
投資有価証券評価損	40,421	—
その他	12,219	19,117
営業外費用合計	111,204	70,582
経常利益	408,391	1,888,637
特別利益		
固定資産売却益	1,863	6,313
特別利益合計	1,863	6,313
特別損失		
固定資産売却損	120	194
固定資産除却損	342	685
特別損失合計	463	879
税金等調整前四半期純利益	409,792	1,894,071
法人税、住民税及び事業税	162,195	394,665
法人税等調整額	258,715	23,736
法人税等合計	420,910	418,402
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△11,118	1,475,668
少数株主利益	2,006	739
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△13,124	1,474,928

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△11,118	1,475,668
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,690	204,089
為替換算調整勘定	455,551	938,276
その他の包括利益合計	459,241	1,142,366
四半期包括利益	448,123	2,618,034
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	446,116	2,617,294
少数株主に係る四半期包括利益	2,006	739

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

セグメント情報

I 前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	日本	アジア	ヨーロッパ	計		
売上高						
外部顧客への売上高	15,703,415	5,261,555	2,159,399	23,124,369	64,712	23,189,082
セグメント間の内部売上高又は振替高	2,603,542	1,936,291	13,662	4,553,496	—	4,553,496
計	18,306,957	7,197,846	2,173,061	27,677,866	64,712	27,742,579
セグメント利益又は損失(△)	712,331	134,537	29,689	876,558	△31,228	845,330

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、南米の現地法人の事業活動を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	876,558
「その他」の区分の損失(△)	△31,228
セグメント間取引消去	△1,659
全社費用(注)	△535,833
四半期連結損益計算書の営業利益	307,837

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	日本	アジア	ヨーロッパ	計		
売上高						
外部顧客への売上高	16,520,692	7,700,957	2,841,429	27,063,079	67,095	27,130,174
セグメント間の内部売上高又は振替高	3,124,156	2,719,891	28,939	5,872,987	251	5,873,239
計	19,644,849	10,420,849	2,870,368	32,936,067	67,346	33,003,413
セグメント利益又は損失(△)	907,090	1,044,852	111,830	2,063,773	△45,342	2,018,431

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、南米の現地法人の事業活動を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	2,063,773
「その他」の区分の損失(△)	△45,342
セグメント間取引消去	△27,740
全社費用(注)	△571,937
四半期連結損益計算書の営業利益	1,418,753

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。